

施設長	園長	部長	記録者
			

社会福祉法人駿河会 平成30年度 第1回 地域密着型サービス運営推進会議【薬科】

日時 平成30年11月15日 13:30～14:00
 会場 ラポーレ駿河相談室
 出席者 玉田直文 芳澤ひろ子 村田雄二
 森谷正義 三浦勝己 森朝世
 後藤友紀 小黒達也 森主真里子

事務局 本日はお時間をいただきましてありがとうございます。
 では、早速ですが駿河会の地域密着型サービス運営推進会議を始めたいと思います。

はじめの挨拶

玉田 本日はお集まりいただきありがとうございます。
 嘉響、こだまそれぞれの活動状況について報告させていただきます。皆さまから貴重なご意見を頂き、今後の運営の糧にさせていただきます。

事務局 30年度における第1回目の運営推進会議となります。
 今回の議題としては、上半期における事業の実施状況について、主に30年6月より新たに提供を始めたサービス「生活機能向上連携訓練」を含め、報告いたします。また、地域における活動状況と、先日発生した長期停電時の対応についても合わせて報告いたします。

では、こだま、嘉響の順で、各担当者から報告します。

こだま（小黒） ・上半期報告及び、生活機能向上連携訓練の内容と実施状況。
 昨年度実績と比較して、利用者数や延べ利用日数は増加傾向。昨年度、認知症対応型通所介護から地域密着型通所介護へサービス種別を変更したことにより、嘉響を利用されている方の状態が変化（介護量が増加）した場合においても引き続きこだまでデイサービスを継続して利用する事が出来ているなど、シームレスな対応を行える環境が整った。
 6月より生活機能向上連携加算算定を開始。静岡リハビリテーション病院の専門職と共同で利用者の心身状況等の把握をすることで、今まで以上に効果的な訓練を行うことができています。また、利用者の反応も「先生に見てもらえてうれしい」など、喜ばれる声が聞かれています。

・地域での取組。（10/27、富沢神楽の企画・実施）
 施設近隣に、子供に神楽を教えている方がおり、話をする中で出てきた事として「昔は神楽を村の祭りなどで披露する場所があったが、最近は祭りの数自体も減ってきていて、せっかく神楽を学んでも披露する場所がない」との話が聞かれた。神楽を披露する場所としてデイ

サービスで舞って頂くことについて提案すると快く了承していただき、10/27にデイサービスにて神楽を舞う企画を提案・実施することができた。

・10/1に発生した、長期停電時の対応。

停電は丸1日続いた為、10/1は営業を中止させて頂き、特別養護老人ホーム晃の園の支援活動に従事した。当日のキャンセルとなった為、電話がつながる方には連絡し、つながらない方については直接訪問することで安否確認も併せて行った。

嘉響（後藤）

・上半期報告及び、生活機能向上連携訓練、栄養改善訓練の実施状況。

最近の傾向として総合事業でデイを利用される方が減少しており、要介護者の利用が増えている。新規相談やお試し利用の相談は昨年同様来ている。利用されている方の中には入院により長期休養される方も出ている。また、要介護状態で嘉響を利用開始された方が徐々に状態が良くなり、要支援へ認定が変更したのち地域のS型デイを利用する事で嘉響を卒業することができたケースがあった。地域における取組(S型デイ等)が機能していると感じた。生活機能向上連携訓練については嘉響でもこだま同様好評を頂いている。また、10月からは要支援・事業対象者の方についてもサービスを利用できるよう環境を整備した。嘉響では栄養改善訓練の提供も行っており、対象者が1名出ている。晃の園の管理栄養士と連携し、誤嚥性配線を繰り返す方の食形などについて検討している。

・地域での取組。

平成28年度より継続している手縫い雑巾の寄贈については今年度も継続して行っている。近隣にある清沢こども園、中藁科こども園、蛍が丘保育園、清沢小学校に対して440枚の寄贈を行った。また、この取り組みを知った静岡県ボランティア協会からも古タオルの提供があり、晃の園で回収活動を行っているものと合わせて800枚程の古タオル回収ができています。今後も地域に向けて発信を行っていきたい。

10/17、地域のお茶農家の方を講師に、近隣の子供を招待して煎茶の淹れ方を学ぶ会を企画し、実施した。昔は当たり前だった急須に茶葉を入れて飲む習慣が薄れつつある状況に、少しでも子供たちにお茶の淹れ方を知ってほしいという思いから企画した。デイサービスの利用者様たちも、子供たちと触れ合う機会を持てたことに大変喜ばれていた。

・10/1に発生した、長期停電時の対応。

当日は停電の為、営業を中止した。電話連絡を利用者に行い、安否確認を行った。また、電話のつながらなかった方については直接訪問を行って安否確認を行った。

翌日からは通常通り営業を再開したが、デイの利用を楽しみにされている方が多い中で、停電当日に休みになってしまった方には違う曜日での振替利用を提案させて頂いた。また、富沢地区は電気が復旧していたが、最も復旧が遅い地域で4日停電が続いていたため、普段入浴を行っていない方についてもデイでの入浴を提案した。

事務局

以上がこだま、嘉響における上半期の報告となります。

各担当者は、もっとお話ししたい事があると思います。

森谷さん、三浦さん、森さん、「こんなことを聞いてみたい」というような事はありますか？

森谷委員

自治会で福井県や金沢に行った際、話し合いの中ではやはり防災の話が出ていた。昔と違って地域の連絡、連携が薄れてしまっている中で、災害時にはどう対応していくかという、地域の中学生の力をかりるという手段がある。そのためにも、普段から高齢者と地域の中学生との間でコミュニケーションをとり、避難活動を行っていく必要がある。

今回の報告の中にあつたように、災害によって地域のライフラインが途切れてしまった時に地域における社会福祉法人としてどのように関わって頂けるかということも重要になってくるのだと思います。

事務局

次回の運営推進会議は、3月に行いたいと考えております。

先日発生した長期停電では、地域に根付く社会福祉法人として、地域の方たちに対してどういった支援が必要で、自分たちは何ができたのかを知り得る機会となりました。福祉避難所としての役割のみならず、地域の方たちとどう連携していく必要があるのかを、改めて検討していきたいと思ひます。

次回開催時は準備ができ次第ご連絡差し上げるように致します。本日はありがとうございました。

おわりの挨拶

芳澤

今回も貴重なご意見をありがとうございました。

災害時の対応も含め、これからも地域に向けた取り組みを検討していきたいと思ひます。ありがとうございました。

8. 通所介護・地域型着型通所介護 ①生活機能向上連携加算の創設

概要

- 自立支援・重度化防止に資する介護を推進するため、生活機能向上連携加算を創設し、通所介護事業所の職員と外部のリハビリテーション専門職が連携して、機能訓練のマネジメントをすることを評価する。

単位数

＜現行＞
なし

⇒

＜改定後＞

生活機能向上連携加算 200単位／月（新設）

※個別機能訓練加算を算定している場合は100単位／月

算定要件等

- 訪問リハビリテーション若しくは通所リハビリテーションを実施している事業所又はリハビリテーションを実施している医療提供施設（原則として許可病床数200床未満のものに限る。）の理学療法士・作業療法士・言語聴覚士、医師が、通所介護事業所を訪問し、通所介護事業所の職員と共同で、アセスメントを行い、個別機能訓練計画を作成すること
- リハビリテーション専門職と連携して、個別機能訓練計画の進捗状況を3月ごとに1回以上評価し、必要に応じて計画・訓練内容等の見直しを行うこと。

8. 通所介護・地域密着型通所介護 ④栄養改善の取組の推進

概要

- ア 栄養改善加算の見直し
- 栄養改善加算について、管理栄養士1名以上の配置が要件とされている現行の取扱いを改め、外部の管理栄養士の実施でも算定を認めることとする。
- イ 栄養スクリーニングに関する加算の創設
- 管理栄養士以外の介護職員等でも実施可能な栄養スクリーニングを行い、介護支援専門員に栄養状態に係る情報を文書で共有した場合の評価を創設する。

単位数

- アについて
- <現行> 栄養改善加算 150単位/回 ⇒ <改定後> 変更なし
- イについて
- <現行> なし ⇒ <改定後> 栄養スクリーニング加算 5単位/回（新設）
※6月に1回を限度とする

算定要件等

- ア 栄養改善加算
- 当該事業所の職員として、又は外部（他の介護事業所・医療機関・栄養ケア・ステーション）との連携により管理栄養士を1名以上配置していること。
- イ 栄養スクリーニング加算
- サービス利用者に対し、利用開始時及び利用中6か月ごとに栄養状態について確認を行い、当該利用者の栄養状態に係る情報（医師・歯科医師・管理栄養士等への相談提言を含む。）を介護支援専門員に文書で共有した場合に算定する。



福祉避難所って 知っていますか？

- 高齢で介護が必要な方などが、避難するための避難所があるんです！



福祉避難所説明会を開催します！

日時：11月18日（日）9：00～11：00

場所：特別養護老人ホーム晃の園

説明内容

- 一般避難所と福祉避難所の違いって？
- 富沢地域で心配される災害って？
- 福祉避難所設置見学
- 炊き出し体験 松茸風味炊き込みご飯

野菜たっぷり豚汁

どなたでも参加可能！申し込みも不要です。
高齢者と一緒に暮らしている方、地域の役員で高齢者を支援する方、大歓迎です！！



〈お問い合わせ〉 054-270-1210 担当：長島



社会福祉法人
駿河会

THE UNIVERSITY OF CHICAGO

PHYSICS DEPARTMENT

5720 S. UNIVERSITY AVE. CHICAGO, ILL. 60637

